

第14回 ボランティア研修交流会 ～安芸の宮島観光～

六月三日(日)第十四回ボランティア研修交流会が行われました。「さわやか」研修交流会の中では久々の晴天に恵まれ、ボランティアの皆さんのおかげと、スタッフ一同感謝致しております。最初から八幡のボランティアさんが、二名来ないというアクシデントがありました。一路安芸の宮島に向かいました。

行きのバス内では、最初にテキストを使って江頭会長に「介護保険と通院事業について」を分かり易く講演していただきました。一度のトイレ休憩後、「さわやか」恒例の豪華？賞品付きお楽しみクイズをしておおいに盛り上がりました。大野IC到着時間を当てるクイズには、運転手さんの後ろからプレッシャーをかけたり、おどしたり？してドキドキした時間を過ごしました。フェリーで宮島につきガイ

ドさんの案内で、厳島神社を拝観しました。丁度、厳島神社では神殿結婚式があつていて皆に祝福されていました。一時間くらい観光した後、錦水館にて食事をしながら、大野IC到着時間当てクイズのピタリ賞、他いろいろな賞の発表があり、賞品を見て喜ぶ人、がっかりする人とさまざまでした。その後、お風呂に入る人、おみやげを



買う人、シカと遊ぶ人？、と初夏の宮島を満喫しました。帰りのバスでは、疲れて眠っている人、ビデオを見ている人と、くつろぎながら帰途につきました。また逢える日を楽しみにしつつ、散会しました。

参加されたボランティアの皆さんお疲れ様でした。これからもボランティア活動をよろしくお願い致します。

これは余談ですが、ボランティアさんの中で「さわやか」で旗を作った！という声があがっていました。色は、さわやか色がいいと思います。さて、さわやか色とは、どんな色？みなさん一緒に考えて下さい。

晴天の宮島 ボランティア 河添 博志

今回「さわやか」の研修旅行は世界遺産の安芸の宮島に行きました。いつも雨にたたられる事が多いようですが、今回は皆様の日頃の行いが良いのか晴天に恵まれました。車中では江頭会長のいつもながらの立派なお話を聞きながら宮島に到着しました。

厳島神社はなんと言っても美しい海と山に位置し、さすが世界遺産として世界に誇れる建築物です。宮島を観光するには三時間が必要といわれ

バスの運転手にプレッシャー ボランティア 竹内 隆夫

バスで行くボランティアの交流会は五回目だ。今回ほどスムーズに和やかに行くことが出来たのは初めてだ。運転手の腕は当然だが、一台にまとまり三十人であったこと。四人の「さわやか」のコーディネーター山田、梶原さんの息のあった日頃のリーダーぶりが発揮されたようだ。

安芸の宮島まで片道三時間の時間は退屈するのではないかと思っていた。ところが、江頭さんのきっちり三十分の「通院介護と介護制度について」の話は、ボランティアとヘルパーをされている方もおられ、これからの大切な課題と思いつつ聞いた。

それからが大変。山田コーディネーターから次々と道路交通に関するクイズが出され

て当たった人に景品が出されていき、最後が豪華な、ハイウェイカードが景品となりボランティアの顔が輝き始める。「インターの料金を支払うときにバスが停車する時間」を当てるクイズだ。ボランティアの名前の書かれた一〇センチ四角のカードが渡され、十時三十分現在から約五十キロ先にある料金所に何時何分に止まるか？

私は、十一時二十分と記入した。時間の経過を逐一マイクで言っていたら、運転手「プレッシャーがかかって心臓にこたえるのでやめてくれ」の言葉に中止。着いた時間は十一時ちょうど。

当選者五人。私は大外れ安全運転賞で大きなトイレレットペーパーがとう。

ておりますが、時間が短く隅から隅までとはいきませんでしたが、宮島のシンボルの大鳥居や厳島神社をガイド付きで見物しました。お土産は何と言っても「もみじ饅頭」です。二箱買って帰りました。帰りはさすがに皆様おつかれのようにでした。何のトラブルもなく無事に帰ってこれたのもお世話を頂いた「さわやか」四人娘の美女達のお陰です。どうもお疲れ様でした。次回もよろしく。

全腎協 イン 東京

五月二十日
(日曜日)に東京にて、「全腎協結成三十周年・法人設立五周年記念全国大会」三

十年分ありがとう！明日への歩みとどめず」と銘打ち、全国より六百名の会員が参加して開催されました。始めに全腎協の油井清治会長が高額な医療費自己負担と足りない人工腎臓からの出

発、全腎協(患者会)が設立され、諸先輩による命懸けの運動により、日本のみならず世界でも珍しい大患者会へと発展してきた。三十一年目は二十一世紀とともに迎え、今後は全腎協の事業、運動、組織強化への努力をして行く。と話されました。記念講演で「日本福祉大学教授」二木立

先生は、透析医療技術の進歩が患者の重度化と高齢化を招き、腎不全患者の医療と介護とを一本化する必要が生まれている。しかし現在の介護制度では困難である。とお話がありました。

どこの腎友会も通院介護事業の必要性を訴えていました。県下、全市町村に介護センターを設置しているのは、佐賀県腎友会だけです。腎不全患者の社会参加を考えても、是非必要なことだと思います。

研修旅行 エピソード集

目の保養になった

日本三景の一つ、世界文化遺産ということで、安芸の宮島は、多くの観光客が来ています。特に目立ったのが、アメリカ人やインド人でした。アメリカの若いギャルは、肌もあらわな服装をして街を闊歩しています。

男性諸氏にとっては、いい目の保養になったようです。胸バンドとパンツスタイルのギャルが目立ちました。



狛犬に男女の別

厳島神社の中をガイドつきで見え回りました。色々と勉強になる話が聞けました。その中で、狛犬の説明がありました。左右どちらが男でどちらが女かとの質問。全員、ポカンとして考えこんでいました。それなりの説明のあとガイドさんが、「それぞれのものを股間に描いてあります。」との説明。なるほど！

男性諸氏「俺は負けた」「俺のは小さい」などと好き勝手なことを言っていました。

“岡ちゃん”受難

副会長の岡さん。バス内での時間当てクイズではわずか10秒差でハイウェイカードからカップラーメンに……。

またお土産を抱えて散策中に鹿さんからお土産の袋をかじられ、さんざんな一日でした。

一等が五名も 車中ゲームの正解者

走行時点から、大野に料金所の到着時間を当てるゲームで、五名の正解者が出ました。商品はハイウェイカードで当初は一名の予定でした。5倍の費用負担になりましたが、「さわやか」の懐の深さで全員に商品を渡すことにしました。



時間厳守！守られたり、守られなかったり

八幡駅8時出発でしたが、残念なことに、二人の方がお見えになりませんでした。10分ほど待ちましたが、連絡もつかず、やむを得ず出発しました。その後は、時間厳守がきちんと守られ、全体として、楽しい旅になりました。参加者の皆様、御協力ありがとうございました。

「いやらしい！」セクハラか？

A嬢のパンツのフアスナーが開きっぱなしになっているのを、江頭会長が指をさして指摘しました。A嬢「いやらしい」と、とっさの発言。江頭会長「親切に教えたのに、いやらしいのは、教えないでニタニタ見てる方がよっぽどいやらしいのでは」と真顔で反論。A嬢納得。会長はあとちょっとでセクハラで訴えられるところでした。

